

Oct. 1958

1

Dec

住所録 (文部)

6

氏名 住所	TEL	()
鳥取 太山	1958	() Oct
親子	1958	() Nov
原文	1958	() Dec
庵美	1958	() Dec
		()
		()
		()
		()

町 26-17

様

処理番号 : 1004

納入状況***

26年度 (土)

住所録 (文部)

6

氏名 住所	TEL ()
鳥取 大山 () 1958 Oct	1958
種子 () 1958 - Nov	1958 - Nov
原文 () 1958 - Dec	1958 - Dec
庵美 () 1958 - Dec	1958 - Dec
	()
	()
	()
	()

住所録 (2部)

氏名	TEL	()
住所		()
		()
		()
		()
		()
		()
		()
		()
		()

Oct 16 1958
鳥取市砂丘PT地
の松林にヒメツグ
40ヶset

Oct 17 1958
松林マ^家の竹
ササヤナギ^{湿性}
草本の瓦子湿地
にてアカネズミ^{一頭}
採集 (ad♂)
松林^及中の
ニセアカシヤ^若
林^中にアカネズミ^{一頭}
Young 一頭含
(下草^{殆んど}乾燥)
松林にてヒメツグ
の50羽^{及び}アカシヤ
の50羽の群

砂年 1911
1916年
1921年

鳥取
大山 Oct. 17. 1958

国鉄山の家 附近
天然林 には 約 50ヶ
10ヶ 2ヶ set. (ミズナ
カエデ
トナリ
又ミ)

Oct. 18.

アカネズミ ad. 1 ♀
y. 1 ♀
ヒメズミ 1 ♀

林の被り小な所2ヶ
ススキかミズミは
ナシ / ナツギヨモギ、ササ

Oct 19.

(アカネズミ 4 |
ヒメズミ 1

ササ

Oct 18

6合目 灌木林

下スケ

1-4-20 11

25ヶ

ブナ林(下クロモジ)

5ヶ

南光河原 林甲

下ササその他落木林

部落付近から 喬木帯

とトナリがこの付近から

榎木が一変し

● 麓の黒松林から

急にブナ林となる所

もある。

この帯は落葉樹林

樹林で、ブナ、トネリコ

ミズナラ、ケヤキ、イタヤ

カエデ、等が多く

る。ブナ、クロモジ

がある。クロモジも多い

6合目(1300m)から

● 灌木草本帯となり

● ナツカド、ミモツケ、ケモ

モツケ、グイセニヤナギ

等 2~3m の灌木
が多く、厚に
8合目附近に存すと
天然記念物とな
っているダイセンキウ
ボクノ絶林が約
8町歩にわたり密生
する

その内、ウガイソウ
ヒキツバユモギの
群落があり
高山植物もこの附近
に見られ、

ツカザクろ、コメバツガ
サクラ、シラタマキ

等の小灌木が
ミヤマキンバイ、ミヤマ
オタマモ、ダイセンク
ガク、ダイセンホタル
ズクロ、ミコクアウロ
ダイセンミツバツツジ
ダイセンキスミレ、オトギリ
ソウ、コゴメクサ、シモツ
ケリウ、タツモシソウ
等高山性又は
寒地性植物の
群落がある

6分回 川邊 灌木
林内 (下 2ヶ)

Oct 19.

ヒメズ 2

スズ 1

Oct 20

アカ 2

EX 2

スズ 1

4分回 川邊

7ヶ climax

(下 2ヶ)

Oct 19.

アカ 4.1

Oct 20.

アカ 4.1

南支河原 横
灌木林

Oct 19

ヒメズ 5

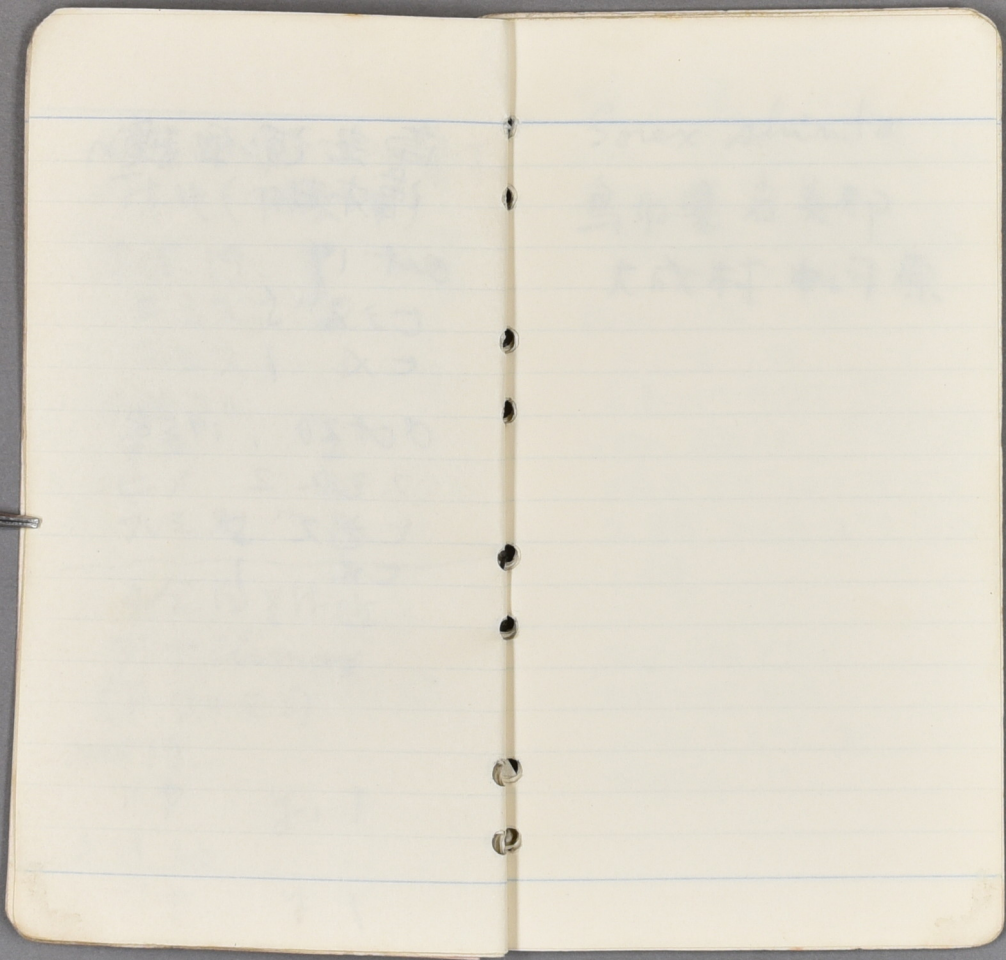
EX 1

Oct 20, 1958

スズ 2

ヒメズ 5

EX 1



Sorex shiota

鳥取県 若美郡

大成村 申河原

Nov 1-22

種子島 1958

Nov. 10 鹿見島泊

Nov 11

種子島 西之表着
入船旅館

Nov. 12 水

ネズミ 0

石寺にてキヤン 20
Nov 13 0

Nov. #14

畑のアセにてモグウ
2頭 アカネズミ (印)
1頭

Nov #15

畑アセにて
ハツカネズミ 2
モグウ 1

Nov 16 1958
スコールナ三 時六
石寺 川迎

畑アセ
モグ³2
ハツカネス³3
家のふしのシタ³叢林
ハツカネス³1

Nov 17 晴
スコールナ三
石寺 川迎

畑アセ
モグ³2
松林(シダ)アサネズミ
灌木林 2

Nov 17 18 晴

モグ³ 2

Nov 18 19 晴

モグ³ 1

Nov 19 20 曇

モグ³ 0

川¹² 横の谷の
上流の山麓湿地
(ミゾツバ、ササ、
アカネ、スミ、ad⁷ /
ジネ、スミ)

Nov 21 晴

モグ³ 1

川¹² 横谷の上流
山麓湿地にて
ジネ、スミ 1

Nov 22 晴

モグ³ 3

Nov 23 晴

モグ³ 1

Nov 24 晴

川¹² 遊人家横の
草地 (4ヶ所、ミゾツバ、
ササ、アカネ、スミ、
ad⁷ / ハツカ⁷
モグ³ 1

石亭人家横草地
ハツカ |

Nov 25 晴
石亭山墓分横
草地ハツ

ハツカ |

川邊人家横
草地(シメ、カヤ)地

アカ |

ハツカ |

川邊 下西小学校
校庭にて、ズネズネ
37体一致拾得

10月31日

1958

西之表港

Nov)

(25日 乗船 → 屋久へ

26日 朝 4時 出航

" 10時 安宿着
粟穂小学校泊

10420 set

27日 晴

ネズミ 0

モウ 2

28日 晴 後小雨

モウ 0

人家 附近 草地にて

ハツカネズミ 3

29日 雨
モグウ 3 (中1頭
はくわ水標本不能)

船行人家附近
草地にてハツカ 2

30日 曇時々雨
モグウ 2
安房刈横草地
にてハツカ 1

Dec. 1 晴
モグウ 3 (中一頭
はトブネズミの喰
物小頭骨のみ
皮一部のみ標本)

ネズミ 0

Dec 2 晴
モグウ 1 (丘の上道)
刈草森林(下草
ミダ)にてトブネズミ
1頭

刈草草地にて
ハツカ 2

Dec 3 晴 (高草)
山間各樹草地
に2シシスミ
(ドウネスミはいな
い)

モグラ1

Dec 4 晴
岡の上の道路横
竹藪(湿気落葉あ
り)に2シシスミ
1

モグラ2

Dec 5 晴
モグラ2
(内1頭(小)は
丘の上イモ畑)

Dec 6
朝7時半の夕バツ丸
に2安彦菘

Dec. 7 1958
朝5時 鹿沼島着

種子島

高い山がなし、丘陵の上まで、悉く耕地となつて、この所が多く、最も多い農作物はサツマイモで、次いでサトウキビが多い。

谷の両側にはホウライケツの叢林が多い場合が多い。

谷の両側の壁は勿論田畑のアセにも、非常に多くのカニがあり、海岸に近い所では赤いカニで、山向の沃地や丘の上には

サワガニが^{多い}。2ヶ所のカニはみんな穴を掘ってそこにその中に棲んでいる。

温泉のあふれは強んとい至り所にカニがあり特に岩おじんが多い。

この様なカニが非常に多いたぬが2ヶ所を喰っていい。イタチが非常に多く岩の横のオウライイタチの林では毎日日中にみられた。又道の上石の上。倒木

の上などにみられた。サワガニが非常に多いたぬが2ヶ所を喰っていい。イタチが非常に多く岩の横のオウライイタチの林では毎日日中にみられた。又道の上石の上。倒木

イタチが非常に多いたぬが2ヶ所を喰っていい。イタチが非常に多く岩の横のオウライイタチの林では毎日日中にみられた。又道の上石の上。倒木

アカネズミは人家横の草地 丘の上の比較的乾燥したブッシュ(バラ、カヤシタ) 松林(乾燥) 山麓 沢地(湿地ミソソバ)

んツカ、カニ、イヌ
がいない所

第1のかがかひ 2/3

小た

ジネズミは山麓

谷間の湿地

(ミツツバ、ホウライイ)

その地

は水

残つていたが

人家は遠いも少

しは

トフネズミは野外

の草地、竹林、イモ

等は遠くまで

水なかつた。又、人家

跡の草地

ハツカネズミが

トフネズミより小

この所の野外は
ネズミの類の少ないのは
イヌが多いたゆがも
知れないが、イヌの
高い population を
維持しているのは
ネズミが少なくしてカニ
であることは明らか
である

又この所のカニが

間接的にネズミ

の生活に因りて

いる外、アカネズミ

ジネズミ等の

habitat を占めると

云うまで直接的に

ネズミの生活に因

りてをまつている事も

考つた。

屋久島
全島の大部分が山地
で海岸まで狭い
が森林は霧か
この上の上には
耕地(サツマ
サトウキビ)が多い
がまだ未耕地
が多くカヤが多い
といふ。丘の上は
一般によく乾燥
して水不足は
全くひどい。
海岸の耕地、水田
附近及び草地
は大部分トウモロコシ
に与用されてい
(谷田)

小毛畑のアセビの色
穴を掘つてみる。
又、ワケにはかかつか
毛ガサ = 頸かトフ
ネズミとくわえん。

エホラトブネズミの
棲息場所は一冊
に渾身の多い所
又はその近くであり
種子島でのこの
好む habitat は
カニが豊富に
いた。

屋久島では水田
畑のアセビ及び

谷川には僅く
カニがみられず
同様にイタチの
フニ、足跡なども
全くみられず。
(住民の話では
イタチは屋久島に
居ない)

えんじ。種子島で
イタチ - カニが
豊富に
habitat は完全に
トブネズミとくわえん
占めるはず。

ハツカネズミは
トウゴネズミの川な
り畑の横の草地
即ちあまり湿気の
多くなり竹でと
めた。これは、親子
鳥でカニの見た小
ない竹でよく似て
いる。

ジネズミは、やは
り山麓谷間の川
の横の草地でとれ
た。この浮た場所
ではトウゴネズミ

かみり小なり、
と云うのは耕地から
比較的隔離され
ていふのでトウゴネズミ
とかがいなるもの
と見ふ。

奄美大島 1958

Dec. 8 7時半

名瀬着

名瀬保健所に寄り

11時発バスにて

住用村に行く

2時住用村着(役勝)

役勝住用小中学校にて

遊ぶ 役勝周辺

水田アセム 7+20ヶ

set

Dec 9. 晴後曇

水田アセムにはトブネ
スミ 1. 但し大部

分の7+はミスミ

水田中にはトブネスミ

ミの足跡が無数に

ありのかがみられた

水田アモのワカ
は全部引上げ
改め2 両仲間の
水田アモ 及び
山向谷 谷間の草
地 に全部 set.

ツバキ 2羽

ハシブトガラス 2羽

クロジ

モセキレウ

カワセウ

セツカ

ルリカラス

ウグヒス

ヒヨドリ

サギ (2羽) ヲヨビ

クマドリ

コノハシク (2)

サシバ

サシバ

和田先生

アマミカクロウサギは

山地で岩石の多い

所に棲んでおり

岩の向にもくついている

と云う。

ケチがネズミは森林

中に棲み 極めて

巧みに又早く木の

上を走り、木から木

へと飛び移ると

云う。

Dec 10 曇

シネズミ 0

1コシ

アマカウ

ニゾウイ

Dec 11 晴

住用川辺の草地
(スギ・ミハ) 湿地
12コ シネズミ 4

Dec 12 晴

住用川辺 草地に2
シネズミ 8

ケチカネズミ

木の洞穴に食草する
大島産林鳥 住用川辺
巨木住吉野徳吉氏設

Dec 13 晴

住用川辺 草地に2
シネズミ 5

Dec 14 雨

住用川辺 草地に2
シネズミ 5

Dec 15 雨 住用川辺

住用川辺 草地に2
シネズミ 2

(住田川辺の草地
でシネズミの糞の
場所にはナメクシ
が非常に多い)

Dec 16 晴
住田川に草地に
シネズミ

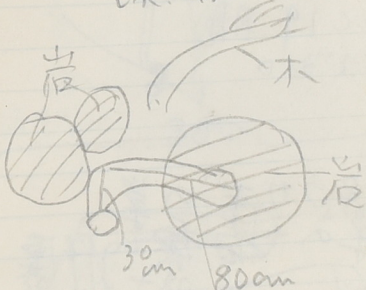
三木峠に登り
大ワナ set

住田中学校上洞拳
持林(下岩場)にて
クロウサギの洞穴を
発見。大がウサギを



△中之出し

穴径高13cm中15
深1.1m

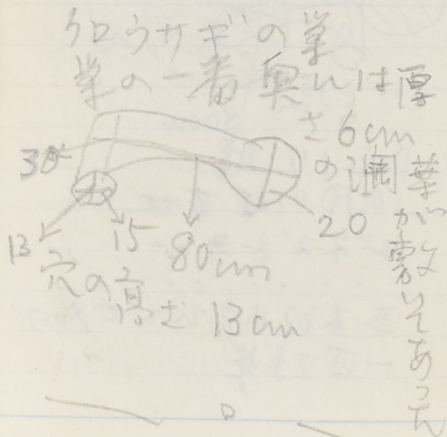


Dec 17 晴
流川川辺草地にて
3ヶ所2ヶ所

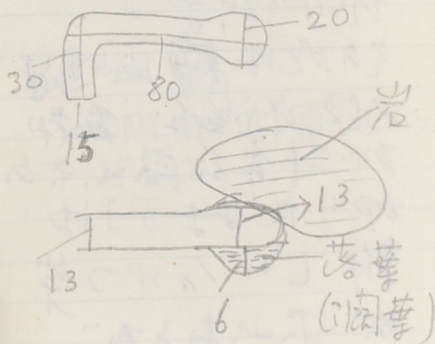
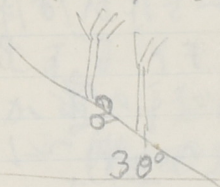
三木即山岩にて7×1.7"
一匹持帰

Dec 18 雨後晴
 木ノミナ

Dec 19 晴
 木ノミナ



72
 70
 クワサギの足を測りて
 木ノミナを以てして
 一歩の70~80cm



夕午 放逐
沼田村 (大島)
昭三一年 5月か10月

トコノミの室
出穂の1月~10月
位前の根本から
切り分け
その頃は梅雨明け
の頃の湿度が温か
か排水の高い土の
切った株からは
新しい分けた芽
が沢山生ずる
そのから1ヶ月に

せり水易才しこの
却子室よりち
之中から2次分れ
先ず子イモの芽
かまの位にある
(寿田先生)

Dec 20 晴
沼田川畔洲草地に
〜 32 x 31

Dec 2 / 月青

住田川辺草地にて
シネズミ (中2頭)
はくわ標本不能
西仲間山麓ニカ
畑にてシネズミ

住田村中学校
前森林沃地の
横斜田(45°)
に生じた朽木
(径80cm カスウが
まいたい)の空洞
にてアウササの
巣を発見



以上クワサキの葉は
二つ葉沢から少し
上によつた急斜面
に生じた

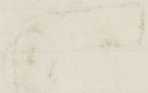
クサキの分布も沢
を中心としており
山頂にはみずもない

Dec 22 曇
ネズミ

Dec 23 曇 後雨
ネズミ

Dec 24 晴 1958
窪田村辺のホウライチク
林の縁にて
シネズミ 10 (但し一匹
はくやみ標本不能)

1953年11月



Doc 24
11月11日
11月15日
11月10日
11月11日

